

平成 22 年度取り組むべき課題

～地域のニーズに応じたバス・タクシーに係るバリアフリー車両の開発調査～

地域のニーズに応じたバス・タクシーに係るバリアフリー車両の開発調査は、平成 20 年度より 3 カ年計画で実施することとしている。平成 22 年度は最終年にあたることから、今年度までの検討結果を踏まえ、以下の事項について検討する。

1. 車両ニーズ調査等

- ・路線バスからマイクロバス・通勤クラスへの代替等の実態調査
- ・海外事例の調査

2. 各種車両の開発・改良の検討

① 大型・中型路線バス

- ・短期対応追加事項の検討
- ・ノンステバス走行不可能路線調査結果分析及び中期対応車両イメージによる走破性検証
- ・中期対応車両イメージの実現に向けた技術的な課題・車両価格の調査
- ・今年度作成した車両モックアップについて、利用者等による評価
- ・3カ年の検討を踏まえたバリアフリー整備ガイドラインの見直し
- ・将来的な低床フルフラットバスイメージの検討、課題抽出

② リムジンバス

- ・荷室装備リフトの標準化の検討
- ・荷室装備リフト以外による対応の検討

③ マイクロバス

- ・リフトの標準化の検討
- ・リフト以外のバリアフリー対応の検討

④ 乗合タクシー（通勤クラス）

- ・横向きシートの安全性等の評価
- ・バリアフリー整備ガイドラインの策定
- ・法規対応における課題の検討

⑤ ユニバーサルデザインタクシー

- ・スロープ板等の課題に対する改善策の検討
- ・実車による評価
- ・車両開発に向けた技術的課題の検討
- ・評価に基づくバリアフリー整備ガイドラインの見直し
- ・認知性向上に係る検討